

第1回日本成人先天性心疾患専門医試験問題概要

1. 出題問題数について

- 出題問題は全部で120問（共通問題40問、内科系問題40問、外科系問題40問）、で内科系受験者は共通問題40問と内科系問題40問の計80問を回答し、外科系受験者は共通問題40問と外科系問題40問の計80問を回答する。
- 小児科と循環器内科は同じ問題に回答する。
- 目標合格率は専門医制度検討委員会の方で決定する。
- 合格ラインは内科と外科で別に決定する。

2. 試験時間について

- 試験時間140分とする。

3. 問題形式について

- タイプA（5つの選択肢の中から正解を1つ選ぶ）またはタイプX2（5つの選択肢の中から正解を2つ選ぶ）のいずれかの形式とする。
- 共通問題、内科系問題、外科系問題いずれにも、想起型（単純な知識の想起によって解答できる問題）・解釈型（与えられた情報を理解・解釈してその結果に基づいて解答する問題）・解決型（設問文の状況を理解・解釈した上で、各選択肢の持つ意味を解釈して具体的な問題解決を求める問題）が含まれる。

4. 設問の内容と難易度

- 成人先天性心疾患 専門医制度 研修カリキュラムおよび成人先天性心疾患診療ガイドラインに沿った内容とする。
- 問題は受験者の8割が正解できる難易度の問題を目指す。